

風水害に備えて

家庭での備え

風水害による建物の被害を抑えるため、下のイラストを参考に、日頃から建物やその周囲の点検・修理・補強を行っておきましょう。

わが家に必要な備えにチェックしよう。

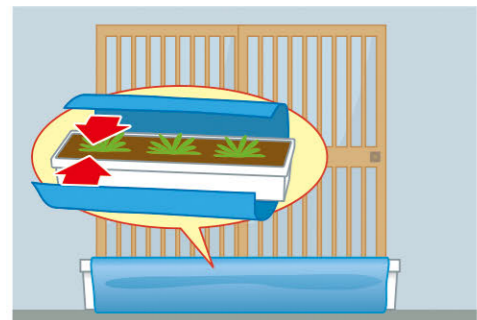


- 外壁**
 - 壁の亀裂
- ベランダ**
 - 植木鉢や物干し竿などの落下・飛散対策
- 屋根・雨どい**
 - 不安定なアンテナの固定
 - 瓦のひび・割れ・はがれ
 - 雨どいに木の葉の堆積
- 板塀**
 - 塀の腐り
 - 板塀への支柱
- コンクリート塀**
 - 傾きやひび割れなどの破損
- 排水溝**
 - 側溝や雨水ますにゴミや土砂の堆積
- 窓**
 - 窓枠や雨戸のがたつき
 - 窓ガラスの飛散対策
- その他**
 - ガスボンベの固定
 - ゴミ箱や植木鉢などの固定
 - 庭木への添え木

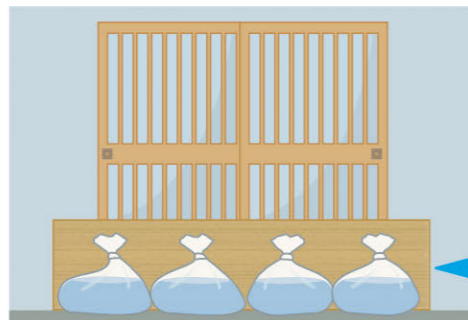
家庭でもできる浸水対策

浸水が浅い場合には、プランターや長めの板(テーブルでも可)などを、ビニールシートに包んで設置する等の方法があります。

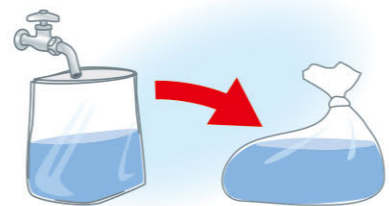
簡易水防工法例① プランター+ビニールシート



簡易水防工法例② 簡易水のう+止水板



「簡易水のう」の作り方



家庭で使用しているごみ袋(40リットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

台風時の停電への備え

台風時には被災状況によって停電が長期化することがあります。停電や停電に伴う断水に備えて、懐中電灯、防寒具、飲料水などを準備しておきましょう。



避難のポイント

避難行動〈立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保〉

「避難」とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。

危険な場所にいる人は、避難場所や親戚・知人宅等へ避難してください。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。避難し遅れたために、安全に避難できない場合は、命を守る行動をとってください。

- 計画的な避難行動**
 - 立退き避難**: 避難場所へ移動する。
 - 屋内安全確保**: 2Fで安全確保する。
- 緊急的な避難行動**
 - 緊急安全確保**: 想定浸水高さを超えないように避難する。

警戒レベルと取るべき行動〈台風・大雨時の避難情報〉

近年、大雨による災害(浸水害、土砂災害)が日本各地で発生しています。大雨時(台風含む)の気象情報である大雨警報には「大雨警報(浸水害)」と「大雨警報(土砂災害)」の2種類があり、避難の対象地域や避難開始目安に違いがあります。

気象庁 発表の大雨警報には2種類あります

- 田尻町に大雨警報 浸水害**
 - 警戒レベル3相当
 - 警戒レベル4相当
- 田尻町に大雨警報 土砂災害**
 - 警戒レベル3相当
 - 警戒レベル4相当

田尻町 からは避難情報を発令します

- 対象地域 田尻町全域※1**
 - 警戒レベル3 高齢者等は避難開始
 - 警戒レベル4 危険な場所から全員に避難指示
- 対象地域 船岡山(泉佐野市)付近のみ**
 - 警戒レベル3 田尻町内では特に避難の必要なし
 - 警戒レベル4

※1 田尻町全域が対象ですが、その中でも危険な場所にいる方

● 田尻町では土砂災害の警戒レベル3・4でも避難所は開設しません。
● 土砂災害の警戒レベル4の場合、全員に「避難指示」が発令されます。

泉州地域に大雨警報が発表されることがありますが、「田尻町」に発表された大雨警報を確認して行動してください。